

教えて！たさか先生!!

子供の気持ちを表す言葉 子供ってすごい!

子供を見ていると自分の気持ちを言葉で表すことができず、思わず手が出たりする場面がありますね。こども園の先生はその子供の様子をしっかり見て「おもちゃを取られてくやしかったね」と思いを代弁してくれます。先生の代弁によって子供は自分の気持ちが「くやしい」ということを学んでいきます。同じように「うれしい」ときにも、「わくわくする」「よろこぶ」「ぎげん」など大人が子供の気持ちを代弁したり、やり取りの中でさまざまな言葉で語り掛けたりすることで表現が豊かになっていきます。泣いたり、手足を動かしたりして思いを表現していた子供が、数年の間に言葉を使って思いを表現するようになるのを見ると「子供ってすごいなあ！」と思います。



た さ か よ し あ き
田坂 嘉章 先生
竹原市立たけのここども園
園長

広島県教育委員会事務局生涯
学習課長兼乳幼児教育支援セ
ンター長等を経て現職

おすすめの絵本を紹介



「ないた」

作：中川ひろたか／絵：長 新太
出版社：金の星社

「ぼくはどうして泣くのかな?」「大人はどうして泣かないのかな?」人はどんなときに泣くのかを子供の視点で描いた絵本「泣くことも大切な気持ちの表し方」だと、大人にも気付かせてくれます。



「コッコさんのともだち」

作・絵：片山健／出版社：福音館書店

コッコさんは保育園で1人ぼっち。でも、同じように1人ぼっちだった友達と出会い、少しづつ心が近づいていきます。言葉や気持ちを伝え合う大切さを、やさしく教えてくれる絵本です。

紹介した絵本は
広島県立図書館で借りられます

広島県立図書館

広島県立図書館

<https://www2.hplibra.pref.hiroshima.jp/>



家庭で「ちょっとやってみよう」と思える
役立つ情報を発信中

親子コミひろしまネット

親子コミひろしま

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/>

広島県教育委員会乳幼児教育支援センター 〒730-8514 広島県広島市中区基町9-42 TEL.082-513-5013

子供にとって遊びや日々の生活の全てが学びです！

「遊び」は「学び」

言葉と気持ち編 幼児(3~5歳)シリーズ⑯

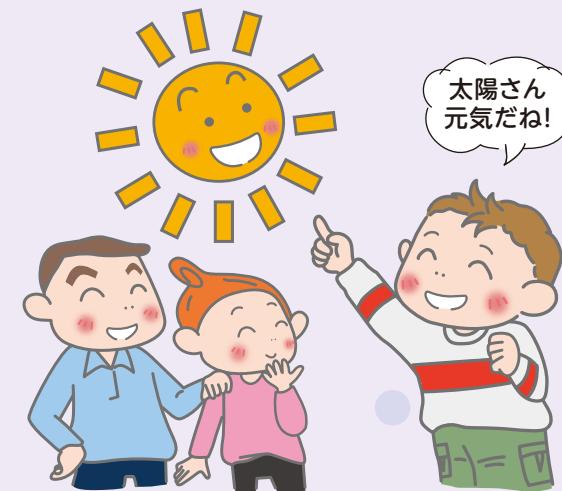
子供の
「つぶやき」 = 素直な
「気持ち」

どう応えてあければいい?

子供の“つぶやき”は面白く、時に大人がドキッとする正直な発言があります。

「言葉にならない気持ち」に耳を傾けてみましょう。

どんな心の世界がみえるでしょうか。



遊び 学び 育つひろしまっ子!
広島県教育委員会乳幼児教育支援センター

「遊び」は「学び」
バックナンバーはこちら ►



子供の「つぶやき」には気持ちがかくれています 温かく寄り添うことで、心と言葉が育ちます

大人の役割は? つぶやきって大事なの?

- ①子供のつぶやき、どう聞いたらいいい?
- ②思わず笑ってしまうようなつぶやきには、どう応じればいい?
- ③大丈夫かな…心配になるつぶやきはどう応えればいい?



子供の発達は個人差が大きく、環境によって異なります。
子供の個性や発達のペースを大切にして、温かく見守っていきましょう。

言葉と気持ちが育む5つの力

言葉が育つと気持ちを整理しやすくなり、自分の気持ちを受けとめてもらえると、相手を思いやる心が伸びていきます。大人が寄り添い、安心して気持ちを表現できる環境こそ、子供の学びにつながります。

言葉が育つ

気持ちを受け止めると 伝える力が育つ

- ①子供はうれしさ、楽しさ、不安などをつぶやきとして言葉にします。まずは、子供がどんな状態でつぶやいているのかを理解して関わることが大事。つぶやきは、感情の表現、思考の整理、コミュニケーションの準備など発達において重要な行動です
- ②「あ～忙しい忙しい」と大人のまね、「朝なのに月が出てる」といった疑問などのつぶやきは、笑顔で見守りながら、時には「本当だねえ」「なんでかな?」と共感し、子供の思いに合った言葉をかけましょう
- ③「やだなあ」「大嫌い!」といったネガティブなつぶやきは心配になりますが、失敗や難しさを感じていたり、気持ちを整理していると成長過程で出てくるものです。「そう思ったんだね」「もう一回やってみる?」などと受け止め、気持ちを代弁してあげることが大事です



乳幼児期に育みたい 5つの力

思いを 言葉に

気持ちと言葉が育ちあう 大切な時期

子供のつぶやきをどう大人が受け取るかで、子供の心や言葉の育ちは変わってきます。

つぶやきが示している子供の気持ちを感じ取り、温かい雰囲気で聞いたり、寄り添ったり、会話を楽しむ経験を積み重ねましょう



おおむね 3歳

- 感じる・気付く力
- 考える力
- 人とかかわる力

おおむね 4歳

- 感じる・気付く力
- 考える力
- 人とかかわる力

おおむね 5歳

- 感じる・気付く力
- 考える力
- 人とかかわる力

- ◆ 語彙が増え、短い言葉で気持ちを伝え、やりとりを楽しむことができます。「なんで?」「どうして?」と大人に尋ねる機会が増えます
- ◆ 会話を楽しむ中で気持ちを受け止めましょう。「なんで?」「どうして?」に共感し、「なんでもう」を一緒に考えることは、好奇心や探究心の育ちにつながります

- ◆ 自分の気持ちや考えを話すようになり、気付きや発見、理由などを伝えるようになります
- ◆ 気持ちを受け止めもらう経験を重ねる中で、さまざまな感情に気付き、少しづつ自分の気持ちを調整できるようになります

- ◆ 具体的に意見や気持ちを伝え、順序立てて話ができるようになります。相手の気持ちを想像し、自分の気持ちを調整する力が育ち、質問も論理的になります
- ◆ 子供の思いや関心に合う言葉で話し、表現力や説明力を支えながら会話を楽しみましょう。会話を「間」をもたせることで、言葉にする前に頭の中で整理して話す経験になります

